

年 組 名前：

山梨テクノメッセ 3年ぶり対面開催 仮想空間で災害体験



仮想空間の「バーチャル災害対策室」を体験する参加者



最新の情報通信技術を活用した製品などを紹介する企業も甲府・アイメッセ山梨

対面での開催は3年ぶり PRしている。今年にはオンラインも用いたハイブリッド形式。製造業、情報通信業などに関連する県内外の各社がブースを構え、専門の最新技術や製品などを

行う「バーチャル災害対策室」などを紹介。12カ国語に対応した多言語の音声会話システムや、VRゴーグルで360度の映像とともにリアルタイムでコミュニケーションが取れるシステムなども体験でき

AIロボが案内業務

県内最大の工業製品展示商談会「山梨テクノICTメッセ2022」（県機械電子工業会など主催）が11日、甲府・アイメッセ山梨で始まった。72の企業・団体が出展し、人工知能（AI）や仮想現実（VR）、IoT（モノのインターネット）などの最新技術を活用した製品などを数多く紹介している。
（土屋真佑子）

（2022年11月12日付 山梨日日新聞 7面）

11日は出展企業によるプレゼンテーションや、総務省関東総合通信局長の新井孝雄氏による特別講演などもあった。
山梨テクノICTメッセは12日まで。小学生向けのプログラミング教室や、中高大学生らが機械技術を競う「ロボコンやまなし」などが開かれる。午前10時～午後4時。入場無料。

問1

下記は、英語の略称です。日本語では、何と訳しますか。

- ・A I :
- ・V R :
- ・IoT :
- ・ICT :

問2

イベントでは、どのような体験ができると、記事に書かれていますか。2つ教えてください。

-
-